

ラーニング・マウンテン
— まなびのプランを立てよう —

1下『スイミー』

たんげん名

おはなしの せかいを そうぞうして よみ、
スイミーに 手がみを かこう

みんなで かいけつ
したい もんだい

おはなしを よんで かんがえた ことを スイミーに つたえる ために、
手がみを かこう。

わかる こと・できる こと

㊦ だれが なにを したのかを たしかめて 文を かく。
(1カ)

かんがえる こと・あらわす こと

① おはなしを よんで、スイミーの した ことを たしかめる。
(C(1)イ)
㊦ スイミーの ようすを そうぞうして、ぶんしょうに
かかれて いない ことを かきくわえる。(C(1)エ)

くふうして まなぼうと すること

⑤ かきくわえた ぶんしょうを なんども よみ、
じぶんだったら どう するか かんがえて、手がみを
かく。

3 ステージ (2) じかん

たしかめ ㊦

〈こんな まなびで こんな 力を!〉

㊦ かきくわえた ぶんしょうを もとに、じぶんだったら どう
するか かんがえて、スイミーへの 手がみを かく。
⑧ かい た 手がみを よみあい、おもった ことを
つたえる。まなんだ ことを ふりかえる。

1 ステージ (1) じかん

〈こんな まなびで こんな 力を!〉

① おはなしを よみ、スイミーの した ことについて
すごいと おもった ことを まとめる。かんがえた ことや
かんじた ことを つたえる ために 手がみを かくと
いう、まなびの ゴールを たしかめる。

スタート

【これまでの まなびで この たんげんに 生かせる こと】
おはなしに 出て くる 人の ことばを かんがえる ことを とおして、ばめんの ようすを たしかめる。

ゴール

【この たんげんを とおした ふりかえり】
・スイミーの した ことや 気持ちを まとめる とき、どの ことばに
気をつ けましたか。
・ぶんしょうに かかれて いない スイミーの 気持ちや ばめんの
ようすを、どのように かんがえましたか。

2 ステージ (5) じかん

たしかめ ㊦㊦㊦

〈こんな まなびで こんな 力を!〉

②③ スイミーが どこで なにを したのか、その ときに
どんな 気持ちだったかを、文に まとめる。
④ さしえを もとに、ぶんしょうに かかれて いない
ことを見 つける。
⑤⑥ ぶんしょうに かかれて いない スイミーの 気持ちを
かきくわえる。

小学校1年『スイミー』授業のポイント

単元名 おはなしのせかいをそうぞうしてよみ、スイミーに手がみをかこう

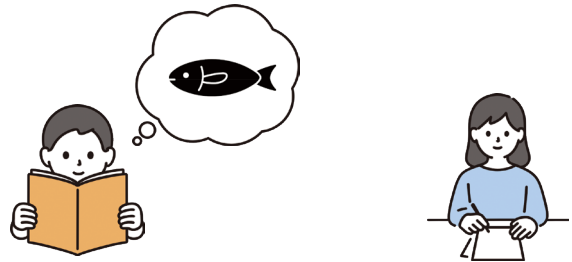
本教材の原典は、レオ＝レオニ作の絵本です。挿絵と文章を関係づけて読むことで、レオ＝レオニの物語の世界を豊かに想像して読むことのできる教材です。

本教材の特色は、起承転結のはっきりした物語の展開がわかりやすく、始めと終わりのスイミーの変容を読み取りやすいことです。海の生き物たちとの出会いが、スイミーに大きな影響を与えていますが、比喩表現などに着目することで、その生き物たちのすばらしさやおもしろさを想像することもできます。

一方で、文章量が少なく、挿絵に描かれていても言葉では表現されていない空所も多くあることから、文章に書かれていないことを子どもたちが豊かに想像することのできる教材だといえます。

1 単元で身につけたい資質・能力

本単元では、挿絵と文章を関連づけたり比べたりしながら物語を読む活動を通して、文章には書かれていない、空所に隠れている物語の世界を想像する力をつけます。また、想像したことをもとに、スイミーに手紙を書くことを通して、どのような言葉で表現するとよいか文章を読み返しながら考えたり、挿絵と文章を関連づけたりする力もつけます。



2 評価規準

評価の観点	評 価 規 準
知識・技能	・文の中における主語と述語との関係に気づいている。…(1カ)
思考・判断・表現	◎「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。…C(1)イ ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。…C(1)エ
主体的に学習に取り組む態度	・粘り強く登場人物の行動を具体的に想像し、自らの学習を調整しながら、登場人物に手紙を書こうとしている。

本単元における子どもたちのゴールイメージ

本単元では、スイミーについて深く読むために、文章には書かれていない、挿絵から読み取ることのできる情報を本文に書き加えていきます。そして、『スイミー』を読んで考えたことや感じたことを、スイミーに伝える手紙を書きます。

第2ステージ②③の段階では、スイミーに着目して文章を読み、スイミーの行動や気持ちを文にまとめます。④の段階では、挿絵と文章を関係づけて読みながら、スイミーの様子や気持ちが書かれていない空所を見つけていきます。そして、⑤⑥の段階で、文章には書かれていないスイミーの気持ちを考え、心の声として本文に書き加えていきます。

第3ステージ⑦の段階では、これまで挿絵と文章を読み、想像してきたことをもとにして、スイミーに向けた手紙を書きます。

叙述の中の空所を見つけ、言葉を書き加えた文章例

【書き加える前の教材文】	【空所を見つけ、書き加えたワークシートの一部】
うなぎ。かおを 見る ころには、 しっぽを わすれて いるほど ながい。 そして、かぜに ゆれる もいろいろの 木みたいな やしの 木みたいな いそぎんちゃく。 「なんてきれいなんだろう。 もいろいろの林みたいだなあ。 ゆらゆらしているよ。」	うなぎ。かおを 見る ころには、 しっぽを わすれて いるほど ながい。 「ぼくよりずっと大きいね。 ながくてしっぽが見えないよ。 すごいなあ。」 そして、かぜに ゆれる もいろいろの 木みたいな やしの 木みたいな いそぎんちゃく。 「なんてきれいなんだろう。 もいろいろの林みたいだなあ。 ゆらゆらしているよ。」

解説 挿絵からわかる情報と文章を関係づけながら、スイミーの気持ちを想像するようにします。スイミーが海の底でいろいろなものと出会った時に見たものを、挿絵から読み取ったうえで、自分がスイミーになったような気持ちで表現するように促します。第三者としての言葉ではなく、スイミーの心の声を考えて書くようにします。

ワンポイント スイミーがうれしくなる手紙を書こう！

解説 スイミーが読んだら、うれしくなるような手紙を書くようにします。子どもたちは、物語を読み返しながら、スイミーの気持ちを想像してきたことを生かし、手紙を書くことになります。

また、スイミーの性格や人物像を（ ）に加えることで、スイミーに対しての思いをまとめることもできます。



ラーニング・マウンテンについてはこちらから

ラーニング・マウンテン
— まなびのプランを立てよう —

たんげん名〔

〕 ぜんぶで () じかん

1下『スイミー』

みんなで かいつ
したい もんだい

わかる こと・できる こと

かんがえる こと・あらわす こと

くふうして まなぼうと する こと

【3 ステージ () じかん】

〈こんな まなびで こんな 力を!〉



ゴール

【この たんげんを とおした ふりかえり】

【2 ステージ () じかん】

〈こんな まなびで こんな 力を!〉

【1 ステージ () じかん】

〈こんな まなびで こんな 力を!〉

スタート



【これまでの まなびで この たんげんに 生かせる こと】